

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成30年1月25日(2018.1.25)

【公開番号】特開2017-164107(P2017-164107A)

【公開日】平成29年9月21日(2017.9.21)

【年通号数】公開・登録公報2017-036

【出願番号】特願2016-50588(P2016-50588)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 1 2 Z

【手続補正書】

【提出日】平成29年12月8日(2017.12.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

所定の遊技を行う遊技機であって、
遊技領域を流下する遊技球を受け入れて転動させることが可能な転動面と、
前記転動面を転動する遊技球の転動方向を規制する規制部とを備え、
前記規制部は、前記転動面の上方に位置し、かつ、前記遊技機の正面から奥行方向にか
けて下向きに傾斜した傾斜面を含む底部を有し、
前記傾斜面は、前記底部の一部である、遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

(1) 所定の遊技を行う遊技機（たとえば、パチンコ機 1、スロットマシン）であ
って、
遊技領域（たとえば、遊技領域 2 7）を流下する遊技球を受け入れて転動させることが
可能な転動面（たとえば、ステージ 5 0）と、
前記転動面を転動する遊技球の転動方向を規制する規制部（たとえば、区画部 5 5）と
を備え、
前記規制部は、前記転動面の上方に位置し、かつ、前記遊技機の正面から奥行方向にか
けて下向きに傾斜した傾斜面（たとえば、傾斜面 5 5 b）を含む底部（たとえば、底部 5
5 a）を有し（たとえば、図 7（ a ）,（ c ）参照）、
前記傾斜面は、前記底部の一部である（たとえば、図 7（ a ）参照）。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

このような構成によれば、遊技者の視認を妨げることなく、転動面を転動する遊技球の転動方向を規制することができる。また、底部を設けたとしても転動面で遊技球が転動する空間を確保することができる。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

(2) 上記(1)の遊技機において、

前記転動面および前記規制部の奥側に、所定画像を表示する画面（たとえば、液晶画面90）を有する画像表示手段（たとえば、液晶表示器95）をさらに備え、

前記転動面を転動する遊技球は、前記遊技機の正面から見て前記画面の一部と重なる（たとえば、図8（a）参照）。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

(3) 上記(1)または(2)の遊技機において、

前記規制部は、透明部材から成る。

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

(4) 上記(1)～(3)のいずれかの遊技機において、

前記遊技機は、変動表示の表示結果が特定表示結果（たとえば、大当たり結果）となったときに遊技者にとって有利な有利状態（たとえば、大当たり状態）に制御可能であって、

前記転動面および前記規制部の奥側に、変動表示の実行条件が成立したが未だ開始されていない変動表示に対応する保留表示（たとえば、保留表示99）を表示する画面（たとえば、液晶画面90）を有する画像表示手段（たとえば、液晶表示器95）をさらに備え、

前記規制部は、前記遊技機の正面から見て前記保留表示と重ならない（たとえば、図8（a）参照）。

【手続補正 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0016】

(5) 上記(1)～(4)のいずれかの遊技機において、
前記転動面は、前記規制部とは別部材である(たとえば、図7(a)参照)。

【手続補正10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0018】

(6) 上記(1)～(5)のいずれかの遊技機において、
導光板(たとえば、導光板80)と、
前記導光板の側面から光を入射させる発光手段(たとえば、LED)と、
前記発光手段を制御する発光制御手段(たとえば、CPU、VDP、LEDドライバ)
とをさらに備え、
前記導光板は、

前記発光手段によって入射された光を散乱させることにより所定情報(たとえば、キャラクター像)を表示させる散乱部(たとえば、パターン77)と、

前記所定情報とは異なる特定情報(たとえば、「Type A」といった役物装置65の名称を説明する文字)が印刷された印刷部(たとえば、シルク印刷75)とを含む。

【手続補正11】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0020

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0020】

(7) 上記(6)の遊技機において、

前記散乱部および前記印刷部は、前記遊技機の正面から視て互いに異なる位置に配置されている(たとえば、図10参照)。

【手続補正12】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0022

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0022】

(8) 上記(6)または(7)の遊技機において、

前記散乱部および前記印刷部は、前記導光板において互いに異なる面に配置されている(たとえば、図9参照)。